

## 社団法人砂防学会 会員実勢

(会員種別)	【参考】		
	平成 20 年度期首 (人数)	平成 19 年度期首 (人数)	増減 (人数)
正会員	2 2 6 9	2 3 8 1	- 1 1 2
個人 国内	1 9 8 3	2 0 7 5	- 9 2
個人 海外	1 8	1 8	0
法人等団体	2 6 8	2 8 8	- 2 0
名誉会員	9	9	0
学生会員	1 1 1	1 2 0	- 9
賛助会員	2 6 6	2 9 6	- 3 0
特級	2 1	1 9	+ 2
一級	3 7	4 0	- 3
二級	6 4	7 2	- 8
三級	1 4 4	1 6 5	- 2 1

< 報告 >

## 平成 20 年度社団法人砂防学会通常総会

### (社)砂防学会総務部

日 時：平成 20 年 5 月 14 日 (水) 10 時～11 時

場 所：北海道立道民活動センター「かでの 2・7」 (札幌市)

#### 議事次第

開 会

- 1 会長挨拶
- 2 来賓祝辞
- 3 来賓紹介
- 4 議 事

( 議事録署名人選任 )

第 1 号議案 平成 19 年度事業報告

第 2 号議案 平成 19 年度収支決算報告

平成 19 年度貸借対照表

監査報告

第 3 号議案 平成 20 年度事業計画(案)

第 4 号議案 平成 20 年度収支予算(案)

第 5 号議案 役員選任

- 5 平成 20 年度砂防学会賞授与

閉 会

#### 総会概要

会の成立：当学会の会員総数 2,269 名

定足数 1,136 名

出席会員数(委任状出席共) 1,222 名

来 賓：国土交通省砂防部長

農林水産省林野庁森林整備部長

北海道副知事

農林水産省林野庁北海道森林管理局長

北海道建設部長

北海道水産林務部長

議 長：定款第 22 条により水山高久会長があたる。

議事録署名人：石川芳治会員、岡本正男会員

議 事： 第 1 号議案、第 2 号議案について、一括して鈴木雅一専務理事から配布資料により説明し、また、森脇寛監事から収支決算が適正である旨の監査結果を報告、第 1 号及び第 2 号議案は異議なく全会一致で承認された(下記平成 19 年度正味財産増減計算書資料参照)。

第3号議案、第4号議案について、鈴木雅一専務理事から配布資料により一括して説明し、原案どおり異議なく全会一致で承認された(下記平成20年度収支予算案資料参照)。

第5号議案について、議長から定款第13条及び第11条の規程を説明、鈴木雅一専務理事から配布資料により第30期役員(理事・監事)の選挙結果を報告、新役員が意義なく全会一致で承認された(下記第30期役員候補者名簿参照)。

## 平成19年度 事業報告

### ・研究活動

#### (1) 研究発表会の開催

平成19年5月23日福井県・福井市「福井県民ホール」において開催された平成19年度(社)砂防学会通常総会に引き続き、23日、24日に研究発表会、25日に研修会(平成16年7月福井豪雨被災地およびアカタン砂防えん堤群他)を実施した。研究発表会では、テーマ別セッション、一般口頭発表、ポスターセッションの3形式をとり、テーマ別セッションとして、「警戒避難の現状と問題点」、「最近の異常豪雨による土砂災害」、「水・土砂移動と森林の役割」、「砂防施設の効果と検証」の各セッションを行い、一般口頭発表として、警戒・避難、砂防計画、砂防構造物、砂防事業、斜面崩壊、水文、土砂流出、土石流、環境砂防、緑化の各セッションを行った。総数265課題の発表が行われ、参加者は約1000名であった。

#### (2) シンポジウムの開催

平成19年10月18日、新潟県新潟市「朱鷺メッセ スノーホール」において、第39回(社)砂防学会シンポジウム(テーマ:砂防・治山施設の機能・効果と管理のあり方を考える)を開催した。引き続き19日には現地見学会を実施した。

#### (3) 若手研究技術開発助成の実施

4課題の若手研究助成を採択し実施した。(課題名、代表者名)

「水生昆虫の生息から見た多自然型河床材料の研究」

代表: 梅津健一 (岐阜大学大学院連合農学研究科生物環境科学専攻)

「砂防に関する長期観測データを有効利用するためのデータベース作成・管理手法の開発」

代表: 今泉文寿 (筑波大学農林技術センター井川演習林)

「山地斜面における樹木の存在が洪水流出および表層崩壊に及ぼす影響」

代表: 梁 偉立 (京都大学大学院農学研究科森林科学専攻)

「林床の裸地化した森林流域内における土壌侵食の空間分布特性の把握」

代表: 南光一樹 (東京大学大学院農学生命科学研究科森林科学専攻)

### ・国際学術交流

#### (1) 日韓台砂防シンポジウムの開催(平成19年10月15日)

アジア地域の中で、自然・社会条件が類似している日本・韓国・台湾が一同に会し、土砂災害対策について、研究・行政面に関するお互いの砂防技術を切磋琢磨し、アジアを中心として砂防の発展に協同していくことを目的に開催した。参加者は、54名(国内33名、韓国9名、台湾12名)。

(2) 海外砂防セミナー及び視察への協賛

(社)全国治水砂防協会の主催による海外砂防セミナー及び視察に協賛し、平成19年9月9日から15日の期間、タイ王国との砂防セミナー及び現地視察を行った。

(3) 各種国際会議の案内を砂防学会誌 Vol.60 No.1～No.6号に掲載した。

・事業活動

(1) 出版

1) 砂防学会誌 Vol.60 No.1～No.6までの6冊を刊行した。

2) 平成19年度砂防学会研究発表会概要集 (Pub. No.47) を刊行した。

3) 第39回(社)砂防学会シンポジウム講演集 (Pub. No.48) を刊行した。

4) 日韓台砂防シンポジウム Japan-Korea-Taiwan Symposium of Sediment-related Disasters (Pub. No.49) を刊行した。

(2) 学会財務状況の改善

学会の財務状況と学会運営に必要となる財務について精査し、学会誌および会員名簿出版経費の見直し、部会活動経費の節約を行うことで学会財務の改善を行った。

(3) 講習会、砂防の調査・研究に関する意見交換会 (SAYER 会) の開催

つくば市にて(財)建設技術研究所と共催で砂防水理模型実験の見学と模型実験技術の現状と課題について講習会を開催した。また、砂防学会の若手技術者を対象に砂防調査・研究に関する議論・意見交換会 (SAYER 会) を東京地区および大阪地区で開催した。

(4) 広報検討委員会活動

会員の減少対策と学会の広報戦略について、広報検討委員会で検討と活動を行った。特に、学会ホームページワーキンググループを組織し、学会ホームページの改善、会員へのサービス向上の方法についての議論を行った。

(5) 砂防技術研究会の設置と共同研究課題

研究者と実務者が共同して研究に取り組むことにより、研究の進展と行政課題の解決の両面において着実な成果を得ることを目的に、共同研究課題を設置「大規模崩壊現象とその対策手法に関する研究」とする以下の4課題を内容とする受託研究を行った(課題名・代表者)。

1) 大規模崩壊現象とその対策手法に関する研究

川邊 洋 新潟大学農学部生産環境科学科

2) 流出特性・井戸水位から見た大規模崩壊・土石流の危険度判定に関する研究

恩田 裕一 筑波大学大学院生命環境科学研究科

3) 大規模崩壊地を有する流域からの土砂動態モニタリング手法と土砂生産源の検討

平松 晋也 信州大学農学部森林科学科流域保全学研究室

4) 早明浦ダム上流域における大規模崩壊の時系列変化の把握と濁度物質を含む土砂生産・流出機構とモニタリングシステムに関する研究

松村 和樹 京都府立大学大学院農学研究科砂防学研究室

(6) 調査・研究の実施

1) 災害緊急調査

国内の土砂災害について災害調査委員会を結成し調査団を派遣した。調査団は、平成 19 年 3 月に発生した能登半島地震について結成され、平成 19 年 4 月 10、11 日に調査を行った。

## 2) 受託研究調査

下記の課題について各委員会などで調査研究を実施した。

流域における土砂移動の追跡に関する研究

(財)砂防・地すべり技術センター

自然環境の変化が流域の土砂生産・流出環境に及ぼす影響に関する研究

(社)全国治水砂防協会

土砂災害が発生するおそれのある土地の区域等に関する検討業務

(財)砂防フロンティア整備推進機構

平成 19 年度砂防技術研究会共同研究業務委託

国土交通省中部地方整備局、北陸地方整備局、四国地方整備局、九州地方整備局

## 3) 河川整備基金助成事業の実施

### (7) 表彰

1) 平成 19 年度「砂防学会賞」受賞者を総会において表彰した。

・論文賞 藤田正治 会員

対象論文：生成項を考慮した浮遊砂拡散方程式とその適用

砂防学会誌 57(6), 3-12, 2005

・論文奨励賞名 黒岩知恵 会員

対象論文：森林伐採や植栽を指標とした崩壊面積予測手法に関する研究

砂防学会誌 57(2), 16-26, 2004

・砂防技術賞 内田太郎、吉岡英幸、原 義文、瀬尾克美、長谷川秀三

対象業績：SH 型簡易貫入試験機の開発と適用

2) 平成 20 年度「砂防学会賞」受賞者を決定した。

・論文賞

受賞者：地頭園 隆 会員

対象論文：深層崩壊発生場予測法の提案 - 鹿児島県出水市矢筈岳山体を例にして -

砂防学会誌 59(2), 5-12, 2006

・論文奨励賞名

受賞者：鈴木 拓郎 会員

対象論文：河床粗度条件による土石流の底面抗力の変化に関する実験的研究

砂防学会研究発表会概要集、2005 年

土石流の底面応力構造に関する実験的研究

砂防学会研究発表会概要集、2006 年

粗面固定床上を流れる土石流の抵抗則に関する研究

砂防学会研究発表会概要集、2007 年

Resistance of the debris flow on the roughness boundary

Proceedings of the INTERPRAEVENT “Disaster Mitigation of Debris Flows, Slope Failures and Landslides”、2006 年

( 8 ) 情報提供

砂防学会ホームページの管理・更新、メーリングリストの運営を行った。

( 9 ) 砂防図書館の運営

当学会、(社)全国治水砂防協会、(財)砂防・地すべり技術センター、(財)砂防フロンティア整備推進機構、NPO法人砂防広報センター、(社)斜面防災対策技術協会の6団体共同事業として、砂防に関する図書及び諸資料を収集、整理し砂防関係者等の調査研究と閲覧に供した。

・砂防学会の運営事項

1) 会議の開催

( 1 ) 総会

平成 19 年 5 月 23 日福井県・福井市「福井県民ホール」において通常総会を開催した。出席者および委任状提出者は計 1,661 名(定款 23 条による定足数は 1,192 名)で総会成立。

議案：平成 18 年度事業報告

平成 18 年度収支決算報告

平成 19 年度事業計画(案)

平成 19 年度収支予算(案)

平成 19 年度砂防学会賞授与

( 2 ) 理事会

第 1 回 平成 19 年 5 月 22 日(福井市)

議案：平成 18 年度事業報告

平成 18 年度収支決算報告

平成 19 年度事業計画(案)

平成 19 年度収支予算(案)

平成 19 年度砂防学会研究助成採択について

第 2 回 平成 19 年 10 月 17 日(新潟市)

議案：砂防学会第 30 期役員選挙・選挙管理委員会の承認

平成 20 年度シンポジウム開催候補地について

平成 21 年度総会並びに研究発表会の開催候補地について

国際シンポジウム招致について

国際事業積立金一部取り崩しについて

第 3 回 平成 20 年 3 月 26 日(東京都)

議案：平成 19 年度事業報告と収支決算(見込み)について

平成 20 年度予算編成方針について

第 40 回砂防学会シンポジウムについて

平成 21 年度総会並びに研究発表会開催地について

平成 20 年度砂防学会若手研究助成の採択について

平成 19 年度砂防学会賞の受賞者の推薦  
砂防学会研究発表会概要集 PDF 化について  
国際シンポジウム招致について

2) 役員の改選に係わる委員会の開催

第 30 期役員候補者推薦委員会 平成 20 年 2 月 1 日 (東京都)

第 30 期選挙管理委員会 平成 20 年 2 月 8 日 (東京都)

3) 平成 20 年度「砂防学会賞」選考委員会 平成 20 年 1 月 30 日

4) その他の会議

(1) 砂防技術研究会：平成 19 年 9 月 28 日、平成 20 年 3 月 18 日に開催。平成 18 年度成果報告、平成 19 年度実施概要報告、研究会の今後の進め方検討。

(2) 広報検討委員会 (学会ホームページワーキンググループ)

随時電子メール等による電子会議を開催。学会誌・研究発表会講演集に発表された災害情報についてデータベース化。

(3) 研究開発部会：平成 19 年 4 月 13 日、12 月 1 日に開催。平成 19 年度ワークショップ応募審査、平成 20 年度砂防学会助成の公募要領検討、平成 20 年度砂防学会シンポジウムテーマ検討、受託研究取り扱い、等。

(4) 編集部会・編集委員会 (和文誌)：平成 19 年 4 月 5 日、6 月 5 日、7 月 26 日、9 月 28 日、11 月 30 日、平成 20 年 1 月 29 日。投稿原稿の確認及び原稿処理状況報告、掲載原稿の決定、砂防学会設立、砂防学会 60 周年記念企画 座談会「気候変動などにより生じる新たな砂防の課題」の企画及び実施、特集「土砂災害警戒避難体制とその支援システム」の企画及び実施。

編集委員会 (英文誌)：平成 19 年 7 月 25 日、12 月 5 日、平成 20 年 2 月 6 日。投稿原稿の確認及び原稿処理状況報告、掲載原稿の決定、第 2 号特集テーマの決定・招待執筆者決定および原稿依頼。

(5) 国際部会：平成 19 年 10 月 2 日、平成 20 年 2 月 15 日に開催。日台韓砂防シンポジウムの開催、各種国際会議情報の提供、留学生名簿の作成等。

(6) 事業部会：随時電子会議を開催。平成 20 年度研究発表会テーマ別セッション、講習会、出版事業について協議。砂防水理模型実験講習会・SAYER 会開催準備、学会講演集 PDF 化についての協議、平成 19 年度受託事業計画の検討、各課題担当者の選任等。

(7) 経理部会：平成 19 年 4 月 25 日、8 月 9 日、8 月 30 日、9 月 7 日 (総務部との合同会議)。学会運営に関する収入と支出の分析、支出削減のための方策協議。

## 平成 19 年度正味財産増減計算書

自 平成 19 年 4 月 1 日

至 平成 20 年 3 月 31 日

(単位:円)

科目	予算額(参考)	当年度	前年度	増減
一般正味財産増減の部				
經常増減の部				
經常収益				
受取会費	24,152,800	23,077,000		
事業収益	25,000,000	35,622,652		
出版事業収益	5,000,000	4,080,652		
受託事業収益	20,000,000	31,542,000		
受取補助金等	800,000	800,000		
雑収益	5,000	1,821,085		
經常収益計	49,957,800	61,320,737		
經常費用				
事業費	35,135,000	43,200,025		
受託事業(研究調査)費	12,000,000	23,216,740		
部会活動費	1,535,000	1,491,568		
出版事業費	12,500,000	11,527,661		
図書館運営費	1,100,000	1,100,000		
研究費	5,500,000	4,339,176		
表彰制度運営費	500,000	388,550		
会員名簿作成費	2,000,000	1,136,330		
管理費	16,654,000	16,242,393		
人件費	7,432,000	7,890,081		
管理諸費	9,222,000	8,352,312		
經常費用計	51,789,000	59,442,418		
当期一般正味財産増減額	1,831,200	1,878,319		
一般正味財産期首残高		91,690,587		
一般正味財産期末残高		93,568,906		
指定正味財産増減の部	0	0		
正味財産期末残高		93,568,906		



## 平成 19 年度貸借対照表

平成 20 年 3 月 31 日現在(決算)

(単位:円)

科目	当年度	前年度	増減
資産の部			
流動資産			
現金預金	38,662,488		
未収金	9,906,852		
未収収益	15,991,000		
流動資産合計	64,560,340		
固定資産			
基本財産			
普通預金	30,000,000		
基本財産合計	30,000,000		
特定資産			
退職給付引当資産	3,039,587		
減価償却引当資産	670,678		
学術国際協力事業積立資産	18,000,000		
特定資産合計	21,710,265		
その他固定資産			
什器備品	27,946		
その他固定資産合計	27,946		
固定資産合計	51,738,211		
資産合計	116,298,551		
負債の部			
流動負債			
未払金	19,075,315		
預り金	209,443		
未払法人税等	70,000		
未払消費税等	335,300		
流動負債合計	19,690,058		
固定負債			
退職給与引当金	3,039,587		
固定負債合計	3,039,587		
負債合計	22,729,645		
正味財産の部			
一般正味財産	93,568,906		
正味財産合計	93,568,906		
負債及び正味財産合計	116,298,551		

# 平成 19 年度財産目録

平成 20 年 3 月 31 日決算

(単位:円)

科目		金額	
資産の部			
流動資産			
現金預金			
現金	現金手元有高	239,248	
郵便振替	郵便事業(株) 都道府県会館内郵便局	3,936,670	
郵便貯金	郵便事業(株) 都道府県会館内郵便局	477,639	
普通預金	みずほ銀行 麹町支店	1,891,294	
普通預金	みずほ銀行 麹町支店	600,877	
普通預金	三菱東京UFJ銀行 麹町支店	4,082,863	
普通預金	三菱東京UFJ銀行 麹町支店	17,433,897	
定期預金	三菱東京UFJ銀行 麹町支店	10,000,000	
未収金	共通管理費負担金(内部振替)	8,394,365	
	砂防学会誌 広告料	831,600	
	砂防学会誌 別刷 刊行物代金	534,000	
	受託事業研究調査費仮払金未精算	146,887	
未収収益	受託事業収入 5件	15,991,000	
流動資産合計			64,560,340
固定資産			
基本財産			
普通預金	三菱東京UFJ銀行 麹町支店	30,000,000	
基本財産合計		30,000,000	
特定資産			
退職給付引当資産	三菱東京UFJ銀行 麹町支店	3,039,587	
減価償却引当資産	三菱東京UFJ銀行 麹町支店	670,678	
学術国際協力事業積立資産	三菱東京UFJ銀行 麹町支店	18,000,000	
特定資産合計		21,710,265	
その他固定資産			
什器備品	事務局パソコン 他	27,946	
その他固定資産合計		27,946	
固定資産合計			51,738,211
資産合計			116,298,551
負債の部			
流動負債			
未払金			
	共通管理費負担金(内部振替)	8,394,365	
	出版事業費	2,509,942	
	第40回シンポジウム委員会	1,000,000	
	受託事業研究調査費	5,825,092	
	その他管理費	1,345,916	
預り金	源泉所得税 他	209,443	
未払法人税等	法人都民税19年度確定税額	70,000	
未払消費税等	消費税等19年度確定税額	335,300	
流動負債合計			19,690,058
固定負債			
退職給与引当金	19年度期末要支給額	3,039,587	
固定負債合計			3,039,587
負債合計			22,729,645
正味財産			93,568,906

## 平成 20 年度 事業計画

### 基本方針

砂防に関する研究および調査を推進することにより、広く土砂災害に関する防災科学技術の振興を図り、国土の保全、環境の創出、国民生活の安全等に寄与することを目的とする。

平成 20 年度においては、以下の事業を推進する

- ( 1 ) 研究及び調査並びにその奨励と普及
- ( 2 ) 研究及び調査の助成
- ( 3 ) 研究発表会、シンポジウム等の開催
- ( 4 ) 砂防学会誌及び砂防に関する図書、報・論文、資料等の刊行
- ( 5 ) 図書及び資料の収集・保管
- ( 6 ) 国際学術交流
- ( 7 ) その他、この法人の目的を達成するために必要な事業

### 事業計画

#### 1. 研究活動

##### ( 1 ) 総会並びに研究発表会

平成 20 年度通常総会	5 月 14 日	札幌市
研究発表会	5 月 14 日、15 日	同上
現地研修会	5 月 16 日	苫小牧、洞爺湖

##### ( 2 ) シンポジウム

第 40 回(社)砂防学会シンポジウム	10 月 15 日	宮崎市
現地研修会	10 月 16 日	鰐塚山別府田野川

##### ( 3 ) 「若手研究助成」による研究技術開発とワークショップ活動の助成

#### 2. 国際学術交流

##### ( 1 ) 国際学生交流会及び留学生講演会(特別講演を含む)の実施

札幌市で開催される平成 20 年度砂防学会研究発表会において、国際学生交流会及び留学生講演会(特別講演を含む)を 5 月 14 日に予定している。講演を北海道大学大学院農学研究院の金錫宇氏、特別講演をタイ国灌漑局局長の Dr. Kosit Lorsirirat に依頼している。

##### ( 2 ) 海外砂防セミナー及び視察への協賛

(社)全国治水砂防協会の主催による海外砂防セミナー及び視察に協賛し、平成 20 年 10 月 19 日から 24 日の期間、ハワイでの砂防セミナー及び火山対策の現地視察を行う。

##### ( 3 ) 各種国際会議の最新情報を砂防学会誌に掲載する。

#### 3. 事業活動

##### ( 1 ) 出版

- 1) 砂防学会誌 Vol.61 No.1 ~ No.6 までの 6 冊と英文誌特別号(電子体)を刊行する
- 2) 平成 20 年度砂防学会研究発表会概要集を刊行する
- 3) 第 40 回(社)砂防学会シンポジウム講演集を刊行する

4) 調査・研究等の成果報告書を刊行する

(2) 砂防に関する講演会・研究集会の企画・開催

(3) 調査・研究

1) 砂防技術研究会での研究調査

2) 受託研究の実施

3) 災害調査

(4) 表彰

1) 平成 20 年度砂防学会賞(「論文賞」、「論文奨励賞」、「砂防技術賞」)受賞者の表彰

2) 平成 21 年度砂防学会賞(「論文賞」、「論文奨励賞」、「砂防技術賞」)受賞者の決定

4. 砂防図書・資料の保管整備、砂防図書館の充実

5. 広報委員会活動として、会員増に向けての対応、学会活動の充実、学会ホームページ、メーリングリストなどインターネットを通じた情報交換の促進に取り組む。

## 平成 20 年度収支予算書

自 平成 20 年 4 月 1 日

至 平成 21 年 3 月 31 日

(単位:円)

科 目	平成 20 年度 予算額 (a)	平成 19 年度 予算額 (b)	増減 (a) - (b)
<b>事業活動の部</b>			
<b>事業活動収入</b>			
1. 基本財産運用収入	0	0	0
2. 会費収入	22,662,250	24,152,800	1,490,550
3. 事業収入	25,000,000	25,000,000	0
出版事業収入	5,000,000	5,000,000	0
受託事業収入	20,000,000	20,000,000	0
4. 雑収入	40,000	5,000	35,000
5. 補助金収入	0	800,000	800,000
6. 繰入金収入	0	0	0
特別会計繰入金	0	0	0
<b>事業活動収入計(A)</b>	47,702,250	49,957,800	2,255,550
<b>事業活動支出</b>			
1. 事業費支出	32,480,000	35,135,000	2,655,000
出版事業費	12,500,000	12,500,000	0
受託事業(研究調査)費支出	12,000,000	12,000,000	0
研究費支出	4,500,000	5,200,000	700,000
研究助成金研究費	0	300,000	300,000
図書館運営費	1,100,000	1,100,000	0
部会活動費	1,980,000	1,535,000	445,000
表彰制度運営費	350,000	500,000	150,000
会員名簿作成費	50,000	2,000,000	1,950,000
2. 管理費支出	15,522,000	15,994,000	472,000
人件費支出	6,890,000	6,782,000	108,000
管理諸費支出	8,632,000	9,212,000	580,000
<b>事業活動支出計(B)</b>	48,002,000	51,129,000	3,127,000
<b>事業活動収支差額(A) - (B)</b>	299,750	1,171,200	871,450
<b>投資活動収支の部</b>			
<b>投資活動支出</b>			
<b>特定資産取得支出</b>	517,000	660,000	143,000
退職給与引当資産取得支出	510,000	650,000	140,000
減価償却引当資産取得支出	7,000	10,000	3,000
国際交流積立金支出	0	0	0
<b>投資活動支出計(C)</b>	517,000	660,000	143,000
<b>投資活動収支差額 - (C)</b>	517,000	660,000	
<b>当期収支差額(A)-(B)-(C)</b>	816,750	1,831,200	1,014,450
<b>前期繰越収支差額</b>	44,870,282	42,991,963	1,878,319
<b>次期繰越収支差額</b>	44,053,532	41,160,763	2,892,769

## 第 30 期 社団法人砂防学会役員名簿

( 役 職 )	( 氏 名 )	( 所 属 )
理 事	池谷 浩	(財)砂防・地すべり技術センター
"	石川 芳治	東京農工大学大学院共生科学技術研究部
"	井良沢道也	岩手大学農学部農林環境科学科
"	太田 岳史	名古屋大学大学院生命農学研究科
"	岡本 正男	(社)全国治水砂防協会
"	小川 紀一郎	アジア航測(株)事業推進本部 <sup>°</sup> の <sup>°</sup> 外推進室
"	海堀 正博	広島大学大学院総合科学研究科
"	亀江 幸二	国土交通省
"	川邊 洋	新潟大学農学部
"	久保田哲也	九州大学大学院農学研究院
"	栗原 淳一	長野県土木部
"	古賀 省三	国土交通省国土技術政策総合研究所
"	笹原 克夫	高知大学農学部
"	佐藤 一幸	国土交通省関東地方整備局利根川水系砂防事務所
"	三森 利昭	独立行政法人森林総合研究所
"	下川 悦郎	鹿児島大学農学部
"	下田 義文	八千代エンジニアリング(株)
"	鈴木 雅一	東京大学大学院農学生命科学研究科
"	大丸 裕武	独立行政法人森林総合研究所
"	土屋 智	静岡大学農学部
"	寺田 秀樹	独立行政法人土木研究所
"	中村 太士	北海道大学大学院農学研究科
"	林 拙郎	三重大学大学院生物資源学研究科
"	平松 晋也	信州大学農学部
"	松村 和樹	京都府立大学大学院農学研究科
"	丸谷 知己	北海道大学大学院農学研究院
"	水山 高久	京都大学大学院農学研究科
"	宮本 邦明	筑波大学大学院生命環境科学研究科
"	森 俊勇	(財)砂防フロンティア整備推進機構
"	由田 幸雄	(社)日本治山治水協会
監 事	丸井 英明	新潟大学災害復興科学センター
"	竹内 美次	(財)林業土木施設研究所

## 平成 20 年度砂防学会賞受賞者業績

「砂防学会賞」選考委員会

**論文賞：**地頭菌 隆 会員（鹿児島大学農学部生物環境学科地域資源環境学講座砂防水文研究室・准教授、昭和 56 年鹿児島大学農学部林学科卒業、農学博士）

対象論文：深層崩壊発生場予測法の提案 - 鹿児島県出水市矢筈岳山体を例にして -、地頭菌隆・下川悦郎・寺本行芳、砂防学会誌 59(2), 5-12, 2006

**論文奨励賞：**鈴木 拓郎 会員（(財)砂防・地すべり技術センター、平成 19 年東京大学大学院農学生命科学研究科博士課程修了、農学博士）

対象論文：河床粗度条件による土石流の底面抗力の変化に関する実験的研究、砂防学会研究発表会概要集、2005 年；土石流の底面応力構造に関する実験的研究、砂防学会研究発表会概要集、2006 年；粗面固定床上を流れる土石流の抵抗則に関する研究、砂防学会研究発表会概要集、2007 年；Resistance of the debris flow on the roughness boundary、Proceedings of the INTERPRAEVENT “Disaster Mitigation of Debris Flows, Slope Failures and Landslides”、2006 年